

とみだていーんず

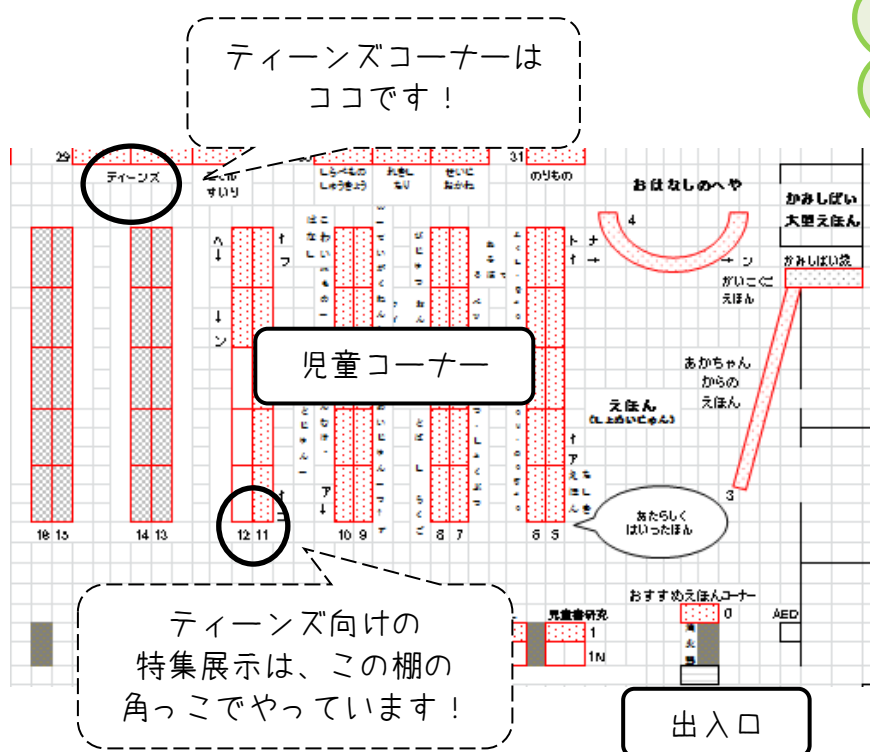
NO. 14

名古屋市富田図書館
令和3年7月20日発行

みなさん、こんにちは！
富田図書館です。

この“とみだていーんず”は、
ティーンズ概ね中学生以上の10代の方向けの広報紙です。
新しく入った本の紹介、図書館で行うイベントの案内などを
載せて発行します。

🍉🐷🍧 ティーンズコーナーご紹介 🍉🐷🍧

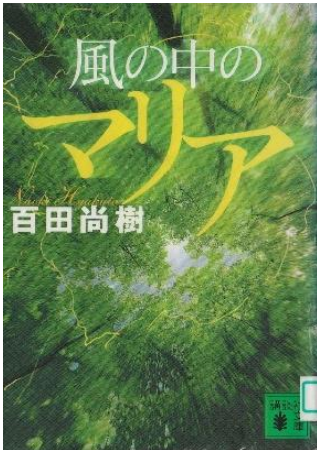


特集展示のコーナーでは、
毎月展示の内容が変わります。
展示本は借りることができますので、
ぜひ、ご覧ください♪





暑い夏にオススメの本



©講談社

『風の中のマリア』
百田尚樹／著 講談社 2011.7

主人公“マリア”は、他の昆虫と戦い獲物を捕らえるメスのオオスズメバチです。

蜂の中でもひととき大きく強いオオスズメバチ。皆さんは、どのくらいオオスズメバチのことを知っていますか？

実は、幼虫のお世話をするもの、戦って獲物を捕らえるもの、巣を守るもの、すべてメスの蜂ばかりなのです。しかも成長したオオスズメバチは、獲物を捕らえても自分では食わず、幼虫に分け与えます。

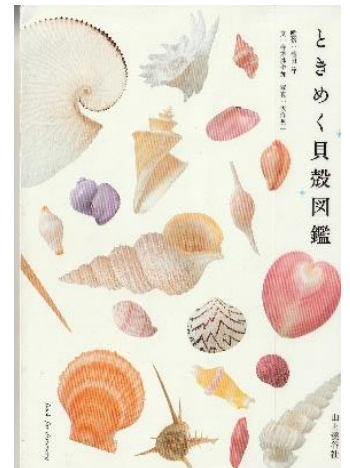
驚くべき蜂の生態を『永遠の〇』を書いた百田尚樹さんが小説化しました。

『ときめく貝殻図鑑』
寺本沙也加／文 山と溪谷社 2016.8

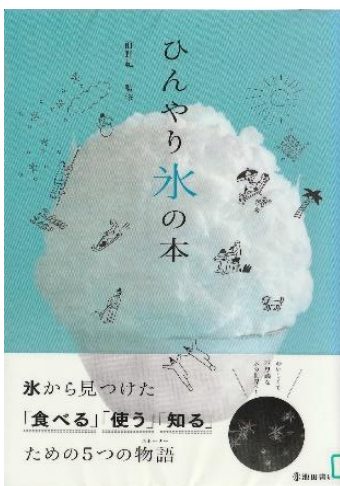
“貝”は古代より人々の暮らしに深く関わってきました。現在発見されている貝塚からも、縄文時代から古代人がよく貝を食べていたことが分かります。また日本では、平安時代に貝覆いという貝のペアを当てる遊び道具として使われてきました。そして現代でも、貝からとれる真珠は装飾品として使われています。

ピンクや黄色、オレンジ、巻きのあるものやハート形のもの、「素敵！！」と思わずときめいてしまう貝殻が写真付きで紹介されています。

人々と貝殻の歴史や採集の仕方も楽しみ、海にでかけたくなる図鑑です。



©山と溪谷社



©池田書店

©前野紀一

『ひんやり氷の本
氷から見つけた「食べる」「使う」「知る」ための5つの物語』
前野紀一／監修 池田書店 2013.6

冷たくておいしいかき氷から、辺り一面を白銀の世界にしてしまう雪や雪の結晶まで、“氷”は私たちの生活のありとあらゆる場所で深く関わっています。

今では当たり前のように手に入れることのできる氷ですが、冷蔵庫が無かった時代は、北国の氷を夏まで保管し、南国まで運んで売っていたそうです。

そんな氷の歴史や、ふんわりしたかき氷の作り方まで詳しく知る事ができる一冊です。ひんやりと冷たい氷を楽しみながらの読書は格別！暑い夏を読書で乗り切ってみてはいかがでしょうか？

課題図書

第67回青少年読書感想文全国コンクール（2021年度）中・高校生向けの課題図書を一部ご紹介致します。

- 中学校**
- 『ウィズ・ユー』 濱野京子／作 くもん出版
 - 『アーニャは、きっと来る』 マイケル・モーパーゴ／作 佐藤見果夢／訳 評論社
 - 『牧野富太郎 日本植物学の父』 清水洋美／文 汐文社

『牧野富太郎 日本植物学の父』
清水洋美／文 汐文社 2020.7

植物の絵を描くこと、調べたり採集したりすることが小さい頃から大好きだったという牧野富太郎さん。94歳の生涯の中で、日本全国の野山の植物を40万点も集め標本にしました。その中の名前をつけた植物はなんと1500種類に及ぶそうです！

著書の『牧野日本植物図鑑』は今でも書店や図書館に並んでいます。植物を愛するあまり研究のために借金をし、妻や6人の子ども達に貧乏な暮らしをさせてまでも、植物に没頭し続けました。そんな富太郎さんの生涯を、のぞいてみませんか？



©汐文社

- 高等学校**
- 『兄の名は、ジェシカ』 ジョン・ボイン／著 原田勝／訳 あすなる書房
 - 『科学者になりたい君へ』 佐藤勝彦／著 河出書房新社
 - 『水を縫う』 寺地はるな／著 集英社



©あすなる書房

『兄の名は、ジェシカ』

ジョン・ボイン／著 原田勝／訳 あすなる書房 2020.4

“サム”と“ジェイソン”は仲良しの兄弟。“サム”には4歳年上の“ジェイソン”という兄がいて、官僚の仕事で忙しい両親の代わりに“サム”の面倒をみて可愛がってくれていました。

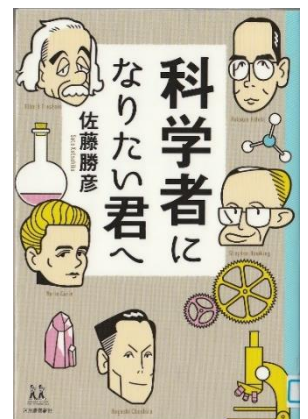
ある時、“ジェイソン”は女性になりたいという自身の気持ちを家族や周りにカミングアウトします。“サム”は突然の兄の告白に戸惑いを隠せず、受け入れることができません。“サム”、“ジェイソン”、家族、それぞれの性に関する考え方や、性の目覚め、社会的な性の考え方を、一つの家族を通してわかりやすく時にはコミカルに伝えています。

『科学者になりたい君へ』

佐藤勝彦／著 河出書房新社 2020.10

小学校時代からラジオ工作が大好きで、中学生でテレビやアマチュア無線を作っていたという、日本の宇宙物理学者であり宇宙論を専門とする著者の佐藤勝彦さん。納得いかないことは何度も質問する子どもで、「ふしぎだな」、「おもしろいな」という考えを追究しようとするのが今の科学者への道に繋がったそうです。

著者の歩んできた人生、尊敬している人物、科学の面白さを知ることができる一冊で、科学が得意でない人でも楽しみながら読むことができます。



©河出書房新社

《学習室ご利用について》

- ・密集をさけるため、座席を減らしています。詳しくは図書館までお問合せください。
- ・マスクを着用し、おしゃべりはしないでください。
- ・発熱のある方、体調の優れない方はご来館をお控えください。
- ・ご自身の感染予防対策として、学習室の利用日時を記録し保管することをおすすめします。



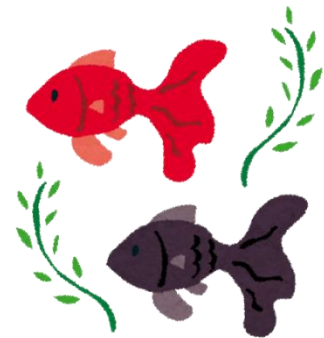
図書館カレンダー



暑い暑い夏、図書館のティーンズコーナーでは、7・8月中、涼しくなるような夏にぴったりの本の展示を行っています。皆さんもぜひ、涼しくなる本を読んで暑い夏を乗り切ってください。

7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



開館時間 9:30~19:00

休館日 第1・第3月曜日（第1・第3月曜日が祝日のときは開館し、その直後の平日を休館）

特別整理期間、年末年始（12/29~1/4）など

※8月中は全日開館しています。

富田図書館では、ティーンズ広報紙のバックナンバーも配布しています。

本について分からないことがあれば職員に聞いてくださいね！
みなさんの来館をお待ちしています！

名古屋市富田図書館ティーンズ広報紙
とみだてーんず NO.14
令和3年7月20日発行
名古屋市富田図書館
〒454-0976
名古屋市中川区服部3-601
TEL 052-432-5313
FAX 052-432-5314